(2) 相互交流による「よさ」の意識化―第一次実践12時目の指導過程と「よさ」の発見―

○本時の目標　「おみやげ」と「宇宙人の宿題」で学習したテーマについて，発展教材を用いて読み深めたことを発表し，話し合いの中で認識を深め，自分なりの考えを持つことができるようにする。

学習内容・活動	教師のはたらきかけ	児童の主な反応	教師の評価・留意点
1. 本時のめあてを確認する。「科学文明について」，「宇宙のやさしさ」，「地球を大切にすること」などの話し合いを通して，深くとらえる力，自分なりの考えをもって話し合う力などの自分の「よさ」をとらえること。 2. 二つのグループでそれぞれが選んだ観点について発表する。 3. 発表の観点にそって，意見が合わなかったことを中心にグループで話し合う。			
4. 全体で話しあったことをもとにグループの中で，自分なりの見方や考え方を話し合い，自分の「よさ」を知る。 (1) 自分の見方や考え方を出し合う。	○解決できなかったことの中に，一人一人の「よさ」が表れる考えがたくさんありました。それらの考え方を大切にして，グループの中でもう一度話し合って見ましょう。		【テーマの認識に関わるジェクタビリティ】 「科学文明について」，「宇宙人のやさしさ」，「地球を大切にすること」などについての認識の深まり，広がり （認識力） テーマについてのいろいろな意見に対し，自分の考えに照らして見分ける力 （判断力） テーマとの関わりにおいて，自分の考えを深める力 （思考力） テーマについていろいろな見方や考え方をもとに，自分なりにまとまりを持った考え方を築きあげる力（実感，納得） （創造力） テーマとの関わりから実感，納得した自分なりの考え（本音）を根拠にして話したり，まとめたりする力 （表現力） ・発表しないグループは，発表したグループから出された「意見が違っていたこと」について，自分たちのグループのものと比較しながら意見を出し合うようにさせる。 ・出された問題点をすべて解決しなくてもよい。
(2) グループの中での相互評価と自己評価 【相互評価】 評価の観点 No.1．グループ学習・活動を通して友達の「よさ」について書いてみましょう。 ○テーマにかかわる見方や考え方について ○グループ内での活動について	○今日の学習もふくめて，グループで学習した中で友達の「よさ」，自分の「よさ」が見つけられたと思います。お互いに書いてみましょう。 ○友達の良かった点について書いてみましょう。	・グループでの活動を思い出して，友達の「よさ」をみつける。	・意見の違いを大事にして扱い，児童の独特な見方や考え方を引き出し，取り上げるようにさせる。 ・教師は適宜助言をする。 評価 グループで取り上げたテーマについて，話し合ったことをもとに，テーマについての自分なりのまとまりを持った考え方を持つことができたか。
【自己評価】 評価の観点 No.2．グループ学習・活動を通して自分の「よさ」について書いてみましょう。 ○テーマにかかわる見方や考え方について ○グループ内での活動について	○自分の良い点について書いてみましょう。 〈観察者の記録〉 ・本時はじめに前時をふまえて意識してみんなの考えがいっぱいでてきたのでよかったと思います。カード記入も途中までかいてはとりこうしてノートを机の下にすえるなど等中しているめあてよりも ノート記入はかきおしまいまでとく途中でいすをくむ時間でみんなストップがかかっていた。	・ノートを見たり考えこんだりして書き込む。	・評価カードの意味を十分に納得させて配布する。
【教師の観察による評価】 評価の観点 No.3．グループ学習・活動を通して先生が見たあなたの「よさ」 ○テーマにかかわる見方や考え方について ○グループ内での活動について	○先生もみんなの勉強ぶりを見ていて，よいところを一人一人書いてみました。 （教師の評価カードを配布する。） ○友達の良かった点について書いたカードを交換しましょう。 （「よさ」の発見カードを配布する。）	・喜んで受け取る。	【活動に見られる学習適性】 いろいろな資料を集めたり，文献をもとにしたりして広く物事をとらえる力 物事を考えたり書いたりする時集中して取り組む力 一つの物事について，どこまでも追い求め，掘り下げていく力 友達や先生の話に耳を傾け，熱心に取り組む力 相手や場の状況に応じて，意見を述べたり聞いたりする力 ・グループごとの状況を机間指導しながら，一人一人に対して評価カードを渡す。 ・「よさ」の発見カードを配布する。 ・ジェクタビリティの要素である表現力，判断力，思考力等の表現ではないが，児童の生の言葉で表現させるようにする。
(3) 友達と先生から出された「よさ」と，自分で考えた「よさ」をつきあわせて自分の「よさ」を意識する。	○友達が見つけてくれた「よさ」と先生が見つけてくれた「よさ」を自分が考えていた「よさ」とつきあわせて，自分の「よさ」をカードにまとめてみましょう。	・三枚のカードを見比べながらまとめのカードに書き込む。	評価 友達と教師から二つの観点で出された「よさ」を自分が考えていた「よさ」とつきあわせて，自分の「よさ」を意識することができたか。
(4) カードにまとめた自分の「よさ」を発表する。	○カードにまとめた自分の「よさ」をみんなに話してください。	・友達が書いてくれたもの ・先生が書いてくれたもの ・自分が書いたもの ↓ 自分がまとめた「よさ」	

相互交流の中での「よさ」の発見

【あなたのよかったところ】

○ 先生から見た、グループ学習の様子を通して、あなたのよかったところ

第（ 5 ）グループ　氏名（ F・Sさん ）

☆主題についての、あなたの見方や考え方のよかったところ

宇宙人のやさしさ、いろいろとみつけることできたようだね

☆グループ内でのあなたの学習の様子のよかったところ

自分の考えをしっかりもってすくノートにまとめることができたね。

【自分のよかったところ】

第 5 グループ　氏名 F・S

○ グループ学習の様子を通して、自分のよかったところについて書いてみましょう。

☆主題についての、自分の見方や考え方のよかったところ

いろいろかいた

☆グループ内での自分の学習の様子でよかったところ

まとめなとてもていろいろかいた。

【友達のよかったところ】

第 1 グループ　氏名 O・Y

○ グループ学習の様子を通して、友達のよかったところについて書いてみましょう。

友達の氏名	F・Sさん
☆主題についての、友達の見方や考え方のよかったところ	
☆グループ内での友達の学習の様子でよかったところ	いしょうけんがいっぱいでていた。（ノートにかいてあること）

【「よさ」発見カード】

5年1組（20）番　氏名（ F・S ）

書いた人（友達）	主題についての見方や考え方のよかったところ	グループ内での学習の様子でよかったところ
いいぬまか物人わきもちたなっみいた	ちきゅうじんやうちゅうじんがいろいろなかんがえを出してくらべる。	
先生	いろいろみつけた。	自分の考えをしっかりもった。
自分	みつけていたばかりまとめるところでいろいろかいた。	
見比べてまとめた自分の「よさ」	いろいろいけんを出してかいた	